

箕輪町 農業委員会だより

名人 NOW

和箒（ほうき）を箕輪の特産に

上古田 唐澤正成さん（87歳）

伝統技能品の1つである和ほうきを、40代の頃から約50年近く、冬場の仕事として作っています。

ほうきの材料とする「ほうききび」は、屋敷のまわりの畑に6月の夏至の頃に種を蒔き、8月の下旬に刈り取りして種を取り、日陰干しにします。その間に行う苗の間引き方で、ほうききびに芯ができて出来栄が変わってしまい材料として使えなくなるので、間引きもなかなか大変です。丈の足りないほうききびは、床ほうきや卓上用にします。

ほうきは、ほうききびの穂の下を茹でて柔らかくしてから編んでいきます。ほうき1本に48本のほうききびを使い、柄にする竹も自分で調達しています。柄の色を編む糸の使い方のデザインも自分で考えています。1日に作れるのは2本ほどですが、10月の赤そば祭りで売っています。

取材でお邪魔したときは、すず竹でびくを作っている唐澤栄一さんと一緒に仕事をしていました。



唐澤栄一さん

唐澤正成さん

目から うろこ編 その八

「大玉トマトの定植及び栽培管理」

唐澤 金実さん（沢）

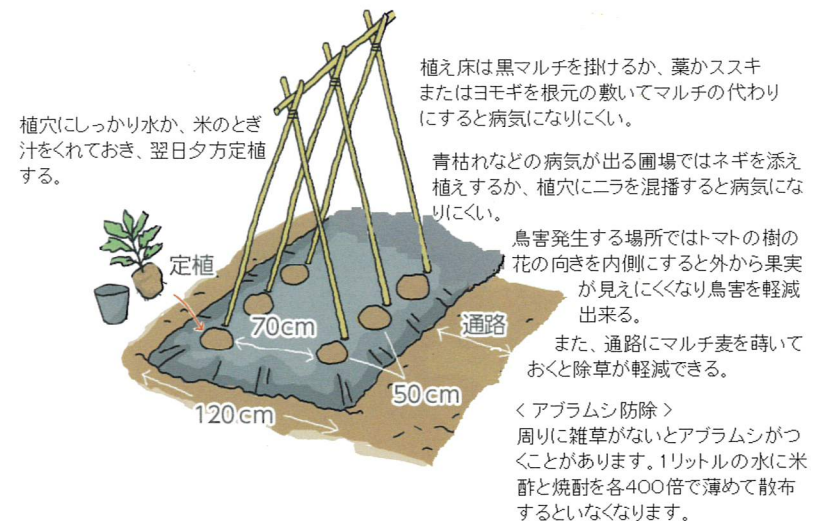
また、摘んだ脇芽を土に挿しておけば発根して苗になり、最初の株以降まで収穫できます。追肥は第3果房が開花した頃の成長点より3枚下の葉当たりの茎の太さが第1果房辺りより細い場合は、株元から50cm離れた通路に移植ごてなどで深さ10cm程度の穴を開け、株の左右にふた握りの鶏糞かぼかし肥等を施します。枯葉などを秋に施していない方はカリ肥料（草木灰）を株当たり200g程度施してください。以降偶数段が着果したら同程度の追肥します。また、第1果房は最後に付く小さい果実2つを残し握りこぶし程度で摘みます。さらに、第3果房が着果した頃マルチをしている場合は剥ぎ取り、藁またはススキかヨモギを根元に敷きます。いつまでもマルチをしておくくと空気を吸いに來た根が焼けて株が長持ちしません。

今回は病害虫防除方法について紹介します。

【購入苗の選び方】上下の葉っぱの長さがほぼ同じような長方形の苗を選びます。モミの木のツリー型の下葉が長く、先端に向かって三角状に葉が短くなる苗は、肥料過多で定植後に徒長し花飛びを起しやすくなるので注意が必要です。（品種例：麗夏、桃太郎ファイト、ホーム桃太郎他）

【定植方法】5月20日以降の霜が降りなくなってから植え付けします。購入苗は一度軽く萎れるまで水やりを控え、植える前日に軽く水をやります。（畝作りと肥料の量は前月号を参照）植穴直下に肥料を入れると木が暴れたり花飛びします。定植時期は本葉7～8枚目、第1果房の第1花が開花する頃がよく、温暖で無風の日に花の向きを外向きにすると最後まで外に着果します。栽培距離は図を参照してください。

【栽培管理】誘引はトマトの茎とイボ竹（支柱）を八の字に紐で縛り固定します。トマトは過湿に弱く6月の長雨に合うと、病気になりやすく泥跳ねによる疫病に掛かりやすくなりますので雨よけを薦めます。第3果房が開花する頃子葉から脇芽が伸びて来ますが、すぐの取らず10cm程度まで伸ばします。その方が根数が多くなります。また、





地域活動紹介編

～防草ネットで草刈り管理の省力化へ～



富田区清水と三日町区上棚で実証実験開始 ～町営農支援センター畦畔管理省力化実証事業を活用～

- 南部営農組合富田支部では、中山間地域直接支払制度とセンター事業を活用して、昨年4月に設置し防草効果の実証実験を開始しました。作業は営農組合役員で設置を行いました。役員の向山英文さんと向山勝一さんは「3年、5年後を見据え地域の営農活動を存続させるうえで、草刈りのできない人や農地管理が困難な農家の手助けができれば」と熱く語っていました。

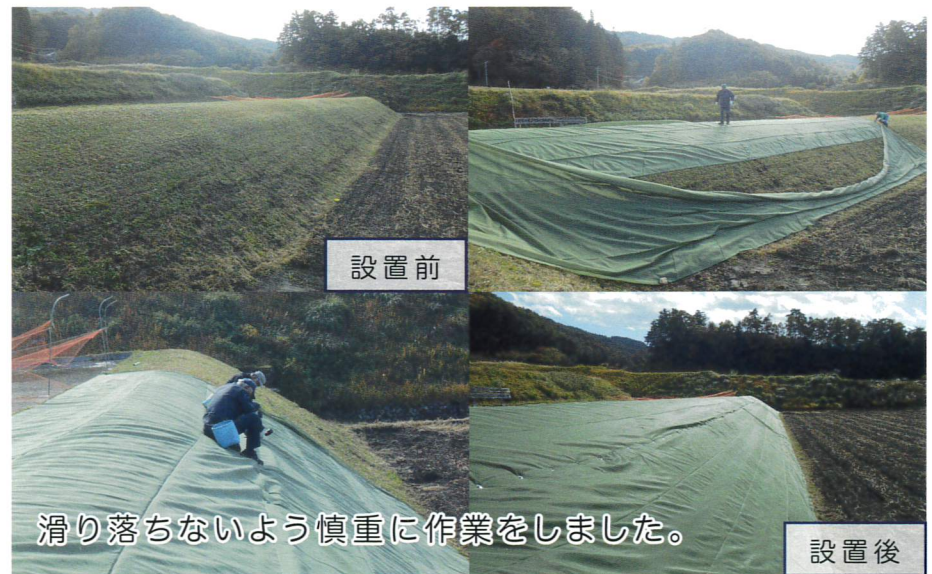
- 箕輪営農組合でも、昨年11月に富田支部の役員の方に技術指導をお願いして同様にを行いました。ネットの上は大変滑り苦労しましたが、ネットにゆとりを持たせ綺麗に張ることができました。小森康司組合長は「同地域で昨年導入したラジコン草刈り機と併用して、若者が意欲的に農業や農地管理ができるような足がかりにしたい」と語っていました。

おまかせネットの特徴（大一工業株式会社） 材質：ポリプロピレン（UV剤入り） 色：グリーン/ブラック
 ①根が張るから法面、畦畔を崩さない。②風を通すからめくれない。③耐用年数約8年と経済的。④斑点米カメムシ等害虫対策。

富田区清水



三日町区上棚



令和4年度農業功績者・農業名人認定者

農業功績者

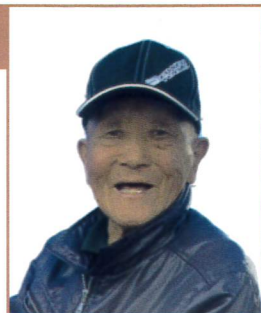
長野県西部箕輪土地改良区の役職や町農産物生産組合初代組合長、深沢圃場整備実行委員長などを歴任されました。



丸山泰正さん(大出)

農業名人認定者

「ほうきづくり名人」
上古田でほうきづくりを始めて50年。
町公民館講座の講師も務めています。



唐澤正成さん(上古田)

農地相談を開催しています

農地に関する相談を実施しています。
(電話予約制)

日時 3月15日(水)午前9時～

場所 役場2階 202会議室

・電話受付締切 3月10日(金)
農業委員会事務局 0265-79-3170

荒廃農地の解消活動

ご自身の農地の利活用や保全管理が困難な場合は、農地が荒れる前に農業委員会へご相談ください。解決策を見出したいと思います。

令和4年度農地パトロール結果

荒廃農地 12.89 ha(前年度は13.76 ha)
全農地に対して0.76%(前年度は0.81%)

老後の備えは農業者年金で安心

農業者の方なら広く加入できます。

年間60日以上農業に従事する方で、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)の方、または60歳以上65歳未満の国民年金任意加入被保険者(保険料納付免除者を除く)の方であれば、どなたでも加入できます。

税制面の優遇措置があります。

保険料は全額が社会保険控除の対象で、支払われる年金にも公的年金等控除が適用されます。死亡一時金は非課税です。農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益(保険料の運用益)も非課税です。

詳しくは [農業者年金](#) で検索

箕輪町農業委員会の各地区担当委員 (任期：2024年3月まで)

唐澤 金実	沢上北部1組 79-5668	唐澤 俊秀	中原2組 79-5783	藤森 英雄	木下南城 79-4596	井口 雅文	福与卯の木 79-3801
大槻 憲治	沢15組 79-6116	春日 初(会長代理)	松島西小路 79-4370	小松 孝寿	木下南原 79-5219	金澤 博(農地部長)	長岡大門 79-5428
藤田 久一	大出4組 79-5525	唐澤 健二	松島春日町 79-6467	櫻井 克成	木下一の宮2 70-8536	上田 千志	南小河内北部 79-5711
関 幹子(農政部長)	八乙女1組 79-3894	小野健一朗	松島南町3 79-0530	赤沼 好秋	富田2組 79-5861	鈴木 健二(会長)	北小河内中村 70-6212
小林 正俊	下古田1組 79-3312	倉田 孝子	木下上一東 79-5172	唐澤 由寛	中曽根1組 79-5010		
唐澤 稔	上古田3組 79-4027	原 美鈴	木下南部 79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚 79-4959		

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 →79-0636

地区営農組合(5地区)：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部(沢/大出/八乙女/下古田)、中部(上古田/中原/松島)、南部(木下/富田/中曽根)、箕輪(三日町/福与)、東箕輪(長岡/南・北小河内)

箕輪町農業委員会だより 第14号 発行2023年3月1日
農業委員会事務局(役場みどりの戦略課内) 0265-79-3170

編集後記：最近横文字や理解できない言葉また略語が多くなりました。英文表記が半分程度の時代が来るのでしょうか？日本語はどんな形で存続しているのでしょうか。50年後をちょっと覗いてみたいなあー(局婆)